令和03年度日進市事務事業評価シート

大事業名	社会教育事業				コード	05240100-0201	
中事業名	社会教育推進事業				計画区分	―	
担当部等	学習教育部		担当課等	生涯学習課			
総合計画	コード	名　　称	予算科目		コード	名　　称	
基本目標	05	学びと文化で未来を創る人財を育てる	会計		1	一般会計	
基本施策	24	生涯学習の推進	款		10	教育費	
主要施策	01	生涯学習システムの充実	項		04	社会教育費	
			目		01	社会教育総務費	
			大		02	社会教育事業	
			中		01	社会教育推進事業	
根拠法令・条例等							
基本計画等							

1　事業概要「PLAN（計画）」

事務事業の概要	社会教育法に基づき社会教育委員を委嘱し、社会教育や生涯学習などについて助言を受け、社会教育施策の充実を図る。また、青少年問題協議会の開催、青少年が健やかに育つための講演会の開催、成人式の開催、キャリア教育の推進等を通じて青少年の健全育成を図る。さらに、社会教育の振興を目的とする各種団体の活動促進を図るため、「日進市社会教育活動費補助金交付要綱」に基づき活動費の一部を助成する。
対象	市民
意図（目的）	充実した社会教育の場を提供する。
手段	社会教育委員会、青少年問題協議会の開催、社会教育団体に対する補助金の交付、成人式、講演会の実施、キャリア教育推進事業の実施

2　実施結果「DO（実施）」

事業費（千円）			H31予算額	H31決算額	R2予算額	R2決算額	R3予算額	R3決算額	R4予算額
			3,580	2,945	5,748	4,630	5,445	2,947	2,763
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	1,000	0	0
		地方債	0	0	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源		3,580	2,945	5,748	4,630	4,445	2,947	2,763

令和03年度日進市事務事業評価シート

○令和 3年度に記載した具体的な改善内容

令和 3年度に実施する具体的な改善内容	社会教育委員会を開催し生涯学習事業全般及び生涯学習4Wプラン策定にかかる助言を受けるとともに、委員の研鑽の場となる研修に参加する。社会教育活動を推進する団体へ補助金を交付する。青少年問題協議会を開催するとともに青少年健全育成に関する事業や講演会、成人式等を開催する。
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容	時代のニーズに合致するとともに市民ニーズに即した事業となるよう、青少年健全育成にかかる事業内容を工夫する。

令和 3年度に取り組んだこと	社会教育委員会を開催し生涯学習事業全般及び生涯学習4Wプラン策定にかかる助言を受けた。社会教育活動を推進する団体へ補助金を交付した。青少年問題協議会を開催するとともに青少年健全育成に関する講演会、キャリア教育推進事業、成人式等を実施した。

成果	社会教育委員会において助言を受けることにより、生涯学習施策の推進を図り、生涯学習4Wプランに関する意見聴取を行い、計画を策定することができた。社会教育活動団体に補助金を交付し活動を支援することができた。青少年問題協議会で情報共有を行うとともに、講演会、キャリア教育推進事業、成人式等の開催により青少年健全育成を図ることができた。
課題	社会教育事業、青少年健全育成事業ともに地域の特性に即した施策が行えるよう、委員間の情報共有をより一層密にするとともに、より多くの市民の意識醸成につながる機会となるよう講演会等の実施方法、内容について検討する必要がある。

３　事業の分析「CHECK（評価）」

評価結果	B	現状のまま継続	前年度評価結果	B
評価の理由	継続して事業を実施することで、生涯学習施策の推進、社会教育活動団体の活動支援、青少年健全育成を図ることにより、地域における生涯学習活動の活性化や次世代を担う人材の育成につながっているため。			

４　今後の方向性「ACTION（改善）」

令和 4年度に実施する具体的な改善内容		社会教育委員会を開催し生涯学習事業全般にかかる助言を受けるとともに、委員の研鑽の場となる研修に参加する。社会教育活動を推進する団体へ補助金を交付する。青少年問題協議会を開催するとともに青少年健全育成に関する事業や講演会、成人式等を開催する。			
今後の方向性	成果	○拡充	●維持	○縮小	○休廃止
	コスト投入	○拡大	●維持	○縮小	○皆減
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容		時代のニーズに合致するとともに市民ニーズに即した事業となるよう、青少年健全育成にかかる事業内容及び開催方法、日程等を工夫する。			

【アウトプット指標】

指標名	事業開催回数（会議、研修等）					単位	回
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	7.00	7.00	7.00	4.00	7.00	11.00	7.00

【アウトカム指標】

指標名	会議等参加者数					単位	人
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	30.00	33.00	30.00	26.00	30.00	42.00	30.00
式	会議等への参加者数						
指標の狙い	充実した社会教育のために、会議および研修の場を提供し、委員の研鑽の場を設けることにより、社会教育活動全般の活性化を目指す。						

令和03年度日進市事務事業評価シート

大事業名	社会教育事業				コード	05240100-0202	
中事業名	生涯学習講座開催事業				計画区分	―	
担当部等	学習教育部			担当課等	生涯学習課		
総合計画		コード	名　　称	予算科目		コード	名　　称
	基本目標	05	学びと文化で未来を創る人財を育てる		会計	1	一般会計
	基本施策	24	生涯学習の推進		款	10	教育費
	主要施策	01	生涯学習システムの充実		項	04	社会教育費
					目	01	社会教育総務費
					大	02	社会教育事業
					中	02	生涯学習講座開催事業
根拠法令・条例等							
基本計画等	第４次日進市生涯学習４Ｗプラン						

１　事業概要「PLAN（計画）」

事務事業の概要	連携協力協定を締結している大学と連携し、各大学の人材・資源、専門性を生かした「大学連携講座」、次世代を担う子どもたちの知的好奇心を探求するような「子ども大学にっしん」並びに市民の自発的な学習を支援するためのきっかけ作り講座「にっしん市民教室」等、様々な講座を実施する。また、地域の活動拠点である小学校を活用し、高齢者が健康で心豊かに過ごせるよう、集い、学びあえる場を構築する。
対象	市民
意図（目的）	学習する機会と場を提供し、生涯学習を推進する。また、学習成果を地域課題の解決や地域づくり、人づくりへ結びつける。
手段	大学連携講座、子ども大学にっしん、にっしん市民教室等の開催、生涯学習事業を周知するための生涯学習情報誌の発行

２　実施結果「DO（実施）」

事業費（千円）			H31予算額	H31決算額	R2予算額	R2決算額	R3予算額	R3決算額	R4予算額
			7,673	4,908	6,464	3,190	5,636	3,308	5,451
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0	0	0
		その他	1,861	1,472	561	376	590	342	590
	一般財源		5,812	3,436	5,903	2,814	5,046	2,966	4,861

令和03年度日進市事務事業評価シート

○令和 3年度に記載した具体的な改善内容

令和 3年度に実施する具体的な改善内容	引き続き各講座の充実を図るとともに、運営方法や周知方法を工夫することで、受講者数及び受講率の上昇に努める。
今後（1～3年以内）実施可能な改善内容	市民企画講座を拡充することは、地域の人材発掘とともに、市民に幅広い学習機会を提供することにつながるため、講師未経験者にも利用しやすい制度となるよう、提案しやすく分かりやすい仕組み作りを引き続き検討していく。

令和 3年度に取り組んだこと	大学連携講座やシルバースクール、市民企画講座等において、コロナ禍においても市民に学習機会を提供できるよう、オンライン講座の開講に取り組んだ。市民教室は、事務の効率化と弾力的な運営を行うため、企画・運営の全てを指定管理者に委託して実施した。

成果	大学連携講座においてオンラインを取り入れたことで、子育て世代等の新たな受講者層の参加を促すことができた。また、オンライン開催の場合も公共施設に視聴会場を設けることで、受講生のニーズに柔軟に対応できた。
課題	オンラインでの実施において、自身での操作が困難な人も多く、自宅等で視聴する選択がとれない人が少なくない。テーマや対象年齢層によって開催方法を柔軟に検討する必要がある。

3　事業の分析「CHECK（評価）」

評価結果	B	現状のまま継続	前年度評価結果	B
評価の理由	大学との連携講座、市民企画講座、シルバースクールの継続実施により、学びの場を広く提供できた。また、市民企画講座の実施により地域の人材活用にも寄与できている。			

4　今後の方向性「ACTION（改善）」

令和 4年度に実施する具体的な改善内容		引き続き各講座の充実を図るとともに、運営方法や周知方法を工夫することで、受講者数の増加に努める。また、講座のジャンルについて偏らず目的をもって設定できるよう検討を行う。			
今後の方向性	成果	○拡充	●維持	○縮小	○休廃止
	コスト投入	○拡大	●維持	○縮小	○皆減
今後（1～3年以内）実施可能な改善内容		市民企画講座を拡充することは、市民に幅広い学習機会を提供するだけでなく、地域の人材発掘、学びの循環につながるため、講師未経験者にも利用しやすく、分かりやすい制度となるよう引き続き検討していく。			

【アウトプット指標】

指標名	開催講座数 ※R3から市民教室を指定管理者運営としたため、指標数値から除く。						単位	講座
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度			R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績		目標
	50.00	53.00	30.00	47.00	50.00	38.00		40.00

【アウトカム指標】

指標名	受講者数						単位	人
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度			R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績		目標
	1,200.00	1,313.00	600.00	751.00	900.00	470.00		500.00
式	受講者数（各講座の受講者数合計）							
指標の狙い	受講者数を増加させることにより、学ぶ機会を得られた市民の総数を増やし、生涯学習活動の活性化を目指す。							

令和03年度日進市事務事業評価シート

大事業名	社会教育事業				コード	05240200-0203	
中事業名	家庭教育推進事業				計画区分	―	
担当部等	学習教育部			担当課等	生涯学習課		
総合計画		コード	名　　称	予算科目		コード	名　　称
	基本目標	05	学びと文化で未来を創る人財を育てる		会計	1	一般会計
	基本施策	24	生涯学習の推進		款	10	教育費
	主要施策	02	地域資源を活用した子どもの学習活動の支援		項	04	社会教育費
					目	01	社会教育総務費
					大	02	社会教育事業
					中	03	家庭教育推進事業
根拠法令・条例等							
基本計画等							

1　事業概要「PLAN（計画）」

事務事業の概要	親子や世代間の絆を深めることを目的とした親子参加型や多世代交流型の事業を開催する。また、小学校区ごとに組織されている家庭教育推進委員会に対して、教育力の向上を目的とした講演会及び家庭教育推進委員会が実施する家庭教育推進活動の支援を実施するとともに、市民に対して活動の周知を行い、地域ぐるみでの家庭教育の推進を図る。
対象	市民
意図（目的）	各家庭における教育や、地域による子どもや若者の育ちを支える取組を支援するとともに、家庭、地域、学校が協力して地域全体で家庭教育を推進できる環境を目指す。
手段	講座、講演会等の開催、家庭教育推進委員会の活動支援、活動を周知するための情報誌の発行

2　実施結果「DO（実施）」

事業費（千円）			H31予算額	H31決算額	R2予算額	R2決算額	R3予算額	R3決算額	R4予算額
			6,477	6,125	6,540	4,507	10,246	8,054	9,927
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	384	138	138
		地方債	0	0	0	0	0	0	0
		その他	129	130	44	33	0	30	0
	一般財源		6,348	5,995	6,496	4,474	9,862	7,886	9,789

令和03年度日進市事務事業評価シート

○令和 3年度に記載した具体的な改善内容

令和 3年度に実施する具体的な改善内容	学校・家庭・地域が連携・協働し、学校を拠点として地域の人材・資源を有効活用することにより、子ども達の健全かつ安全な成長に寄与するため、学校を核とした地域づくりを推進するよう、中学校区ごとに地域学校協働本部を設置し地域学校協働活動推進員を配置する。
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容	地域学校協働活動を推進するためには、関係各課や地域、関係団体の協力が不可欠であるため、地域で子どもたちの成長を支える意識の醸成に向けて、活動の周知を行う。

令和 3年度に取り組んだこと	小学生の親子を対象とした講座を開催するとともに、コロナ禍においても工夫して各学区の家庭教育推進委員会が学校や地域の各団体と連携をとって事業を行った。また、中学校区ごとに地域学校協働本部を設置し各本部ごとに地域学校協働活動推進員を配置した。

成果	コロナ禍においても工夫を凝らした事業実施により、各地域の特性に応じた家庭教育の推進を図ることができた。また、地域学校協働活動を推進することで学校活動を支援することができたとともに、地域の人材・資源を有効活用することができた。
課題	地域学校協働活動に関する周知が十分でなく、地域で子どもたちの成長を支える意識の醸成に向けて情報発信の手法を検討する必要がある。

３　事業の分析「CHECK（評価）」

評価結果	B	現状のまま継続	前年度評価結果	B
評価の理由	家庭教育推進委員会の活動においては、幅広い年代の市民が参加でき地域の特性に応じた多世代交流の場を提供してきた実績は大きく、地域ぐるみで子どもの成長を支える仕組みであるため。地域学校協働活動は学校を核とした地域づくりを推進しており、子ども達の健全かつ安全な成長に寄与している。			

４　今後の方向性「ACTION（改善）」

令和 4年度に実施する具体的な改善内容		地域学校協働活動を推進するため、地域で子どもたちの成長を支える意識の醸成に向けて、市広報誌やホームページを活用した活動の周知を行う。			
今後の方向性	成果	○拡充	●維持	○縮小	○休廃止
	コスト投入	○拡大	●維持	○縮小	○皆減
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容		地域学校協働活動の推進には、関係各課や地域、関係団体の協力及び地域の理解が不可欠であるため、情報共有の手段や周知方法について、引き続き検討していく。			

【アウトプット指標】

指標名	講座・イベント開催数					単位	回
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	60.00	67.00	10.00	59.00	60.00	101.00	100.00

【アウトカム指標】

指標名	参加者数					単位	人（組）
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	12,000.00	12,308.00	500.00	2,567.00	5,000.00	4,443.00	5,000.00
式	参加者総数（親子参加の場合は、親子で1組と換算）						
指標の狙い	参加者総数を増加させることで、家庭教育の推進・活動啓発につながる。						

令和03年度日進市事務事業評価シート

大事業名	文化推進事業				コード	05250100-0301	
中事業名	文化推進事業				計画区分	―	
担当部等	学習教育部		担当課等	生涯学習課			
総合計画		コード	名　　称	予算科目		コード	名　　称
	基本目標	05	学びと文化で未来を創る人財を育てる		会計	1	一般会計
	基本施策	25	文化芸術・文化財		款	10	教育費
	主要施策	01	文化・芸術の普及・振興		項	04	社会教育費
					目	01	社会教育総務費
					大	03	文化推進事業
					中	01	文化推進事業
根拠法令・条例等							
基本計画等	日進市生涯学習４Ｗプラン						

1　事業概要「PLAN（計画）」

事務事業の概要	美術展、子どもアート展、ヤングフェスタやまちなかぎゃらりー等の市主催事業を行うことにより、様々な文化芸術体験を発信する場及び触れる場を提供する。併せて文化協会への支援を行うことにより、市の有する文化芸術を維持、継承そして発展させることを目指す。
対象	市民
意図（目的）	芸術文化活動を推進することにより、心豊かで多様性のある社会を実現するとともに、創造的で活力ある社会の構築を目指す。
手段	美術展、子どもアート展、ヤングフェスタ、文化祭、盆おどり講習会やまちなかぎゃらりー等の開催及び文化協会への支援　等

2　実施結果「DO（実施）」

事業費（千円）			H31予算額	H31決算額	R2予算額	R2決算額	R3予算額	R3決算額	R4予算額
			7,619	6,701	8,315	4,350	7,842	5,555	7,891
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0	0	0
		その他	145	144	142	135	156	134	156
	一般財源		7,474	6,557	8,173	4,215	7,686	5,421	7,735

令和03年度日進市事務事業評価シート

○令和 3年度に記載した具体的な改善内容

令和 3年度に実施する具体的な改善内容	今年度は子どもアート展やヤングフェスタを行うことにより、文化芸術における子どもの発表の場をつくる。 まちなかギャラリーの出品数の増加に対応できるよう、まちなかギャラリーの開催場所を確保し、開催回数を増やす。
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容	市民美術展覧会は若い年齢層からの出品が少ないため、市内大学や商業施設にポスターを掲示するなど、ＰＲ活動を積極的に行う。

令和 3年度に取り組んだこと	まちなかギャラリーの出品数の増加に対応できるよう、まちなかギャラリーの開催回数を増やした。また、子どもが身近で音楽に触れる機会を提供するため、学校音楽アウトリーチ事業、どこでも音楽アウトリーチ事業に取り組んだ。

成果	新規事業として学校音楽アウトリーチ事業を４校、どこでも音楽アウトリーチ事業を保育園２園で実施した。子どもたちが演奏家と近い距離で生演奏を聴いたり、コミュニケーションを取ったり、演奏に参加することで、文化芸術活動への関心を高める事業となった。
課題	文化施設以外でアウトリーチ事業を実施するためには、施設管理者や既存利用者と調整して開催する必要があることから、新たな開催場所の確保が課題である。

３　事業の分析「CHECK（評価）」

評価結果	Ｂ	現状のまま継続	前年度評価結果	Ｂ
評価の理由	市民が文化芸術や音楽を身近に感じる場を提供するには、市民美術展覧会や子どもアート展、ヤングフェスタ等の文化イベントを継続して開催するとともに、学校や市内各施設において文化芸術や音楽を身近に感じる場を創出するアウトリーチ事業を実施する必要があるため。			

４　今後の方向性「ACTION（改善）」

令和 4年度に実施する具体的な改善内容		市民美術展覧会や子どもアート展、ヤングフェスタ等の文化イベントを継続して開催するとともに、市内各施設において文化芸術を身近に感じる場を増やすため、まちなかギャラリーの開催回数を増やし、複数の施設での開催を目指す。 子どもたちが音楽に触れる機会を充実させることで文化芸術活動への関心を高めるため、学校音楽アウトリーチ事業の実施回数を増やす。			
今後の方向性	成果	○拡充	●維持	○縮小	○休廃止
	コスト投入	○拡大	●維持	○縮小	○皆減
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容		文化施設以外でもアウトリーチ事業を実施するため、施設管理者や既存利用者と調整し、新たな開催場所を確保する。			

【アウトプット指標】

指標名	市民へのＰＲ回数（広報、チラシ配布、ＨＰ等）					単位	回
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	5.00	5.00	5.00	3.00	3.00	5.00	5.00

【アウトカム指標】

指標名	市民美術展覧会の目標出品数に対する実際の出品数					単位	点
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	200.00	170.00	150.00	160.00	160.00	152.00	160.00
式	美術展出品数（目標は昨年度の総出品数）						
指標の狙い	出品数が増えることで、より市民が文化・芸術に親しむことができていると考える。						

令和03年度日進市事務事業評価シート

大事業名	文化財事業				コード	05250200-0101	
中事業名	文化財保護事業				計画区分	―	
担当部等	学習教育部		担当課等	生涯学習課			
総合計画	コード	名　　称	予算科目		コード	名　　称	
基本目標	05	学びと文化で未来を創る人財を育てる	会計		1	一般会計	
基本施策	25	文化芸術・文化財	款		10	教育費	
主要施策	02	伝統芸能の継承	項		04	社会教育費	
			目		04	文化財保護費	
			大		01	文化財事業	
			中		01	文化財保護事業	
根拠法令・条例等							
基本計画等							

1　事業概要「PLAN（計画）」

事務事業の概要	市民が地域固有の歴史や風土に対する誇りや愛着を持ち、市内の各地域がそれぞれ個性的で魅力ある地域となるように、文化財の周知及び活用を図るとともに、歴史的建造物である旧市川家住宅を活用し、様々なイベントや講座を実施する。岩崎城歴史記念館は、市の歴史と文化遺産について理解していただく施設として、展示物等を積極的に活用しながら、より親しみやすく歴史に触れる機会を提供していく。
対象	文化財、市民
意図（目的）	文化財が適切に保護され後世に継承されるとともに、市民が歴史的文化遺産に触れる機会を充実させる。
手段	埋蔵文化財の試掘調査、市指定文化財・民俗芸能連合会への補助金、イベントや講座の開催

2　実施結果「DO（実施）」

事業費（千円）			H31予算額	H31決算額	R2予算額	R2決算額	R3予算額	R3決算額	R4予算額
			11,503	6,854	4,911	2,666	4,615	2,343	4,579
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0	0	0
		その他	70	66	109	17	109	15	109
	一般財源		11,433	6,788	4,802	2,649	4,506	2,328	4,470

令和03年度日進市事務事業評価シート

○令和 3年度に記載した具体的な改善内容

令和 3年度に実施する具体的な改善内容	「旧市川家キッズ」講座の開催や、「お月見どろぼう」を大学と連携し子ども向けイベントとすることにより、子どもが旧市川家住宅に親しみがもてるようにしていきたい。 岩崎城歴史記念館とのコラボ企画で「アートセッション」を開催したり、まちなかギャラリーを２回開催したりするなど、旧市川家住宅のギャラリーとしての活用を積極的に行っていきたい。
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容	旧市川家住宅を始めとする文化財を多くの年代の市民に活用してもらえるように、イベント・講座の対象に偏りがないように企画する。

令和 3年度に取り組んだこと	年中行事展示や「旧市川家キッズ」講座等の旧市川家住宅活用講座や季節イベントの開催、香久山古窯の公開に加えて、ひな祭り展示期間に旧市川家住宅、岩崎城歴史記念館、市民会館、図書館とのスタンプラリーを実施した。

成果	ひな祭り展示期間に岩崎城歴史記念館、市民会館、図書館とスタンプラリーを実施したことにより、展示期間の来館者増加につながった。
課題	旧市川家住宅については来館者が減少傾向であり、旧市川家住宅を含めた市内文化財の周知を図るため、活用事業内容の見直しが必要である。

３　事業の分析「CHECK（評価）」

評価結果	B	現状のまま継続	前年度評価結果	B
評価の理由	市内の文化財を適切に保護し、伝統文化を後世に継承するためには、市民が歴史的文化資産に触れる機会を充実させ、郷土愛の醸成を図る事業を継続して実施することが重要であるため。			

４　今後の方向性「ACTION（改善）」

令和 4年度に実施する具体的な改善内容	旧市川家住宅を含めた本市の歴史的文化資産と伝統文化について市内外に周知を図るため、文化財活用事業の内容の見直しに向けた事業内容の整理を行う。				
今後の方向性	成果	○拡充	●維持	○縮小	○休廃止
	コスト投入	○拡大	●維持	○縮小	○皆減
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容	旧市川家住宅を含めた文化財活用事業内容の見直しにより、本市の歴史的文化資産と伝統文化について市内外に周知を図る事業を充実させる。				

【アウトプット指標】

指標名	文化財保護活用事業件数					単位	件
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	42.00	39.00	25.00	28.00	25.00	33.00	35.00

【アウトカム指標】

指標名	文化財保護活用事業への参加人数					単位	人
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	14,500.00	14,734.00	7,000.00	14,388.00	10,000.00	12,569.00	14,000.00
式	参加人数（各事業への参加人数合計）						
指標の狙い	文化財保護活用事業の参加人数の増加を図る。						

令和03年度日進市事務事業評価シート

大事業名	生涯スポーツ事業				コード	05260100-0201	
中事業名	スポーツ大会等開催事業				計画区分	―	
担当部等	学習教育部		担当課等	生涯学習課			
総合計画		コード	名　　称	予算科目		コード	名　　称
	基本目標	05	学びと文化で未来を創る人財を育てる		会計	1	一般会計
	基本施策	26	生涯スポーツ		款	10	教育費
	主要施策	01	生涯スポーツの普及・振興		項	05	保健体育費
					目	01	保健体育総務費
					大	02	生涯スポーツ事業
					中	01	スポーツ大会等開催事業
根拠法令・条例等	スポーツ基本法						
基本計画等	生涯学習４Ｗプラン						

１　事業概要「PLAN（計画）」

事務事業の概要	ウォークをはじめとするにっしんスポーツフェスタやレクスポ祭等スポーツの楽しさを知ってもらうイベントを主催し、スポーツを「する」人口の拡大を狙う。愛知駅伝出場選手の選考および育成を行い、次世代を担う選手を育て、かつ、監督、コーチ等「ささえる」側スタッフの拡大、充実を目指す。また、ファンラン層から本格的に駅伝を行っているチームも参加できる愛知池駅伝を開催することで、スポーツに親しむ人口の拡大を目指す。
対象	市民
意図（目的）	これまでスポーツに関わってこなかった人へのはたらきかけ及びスポーツに関わる多様な人材の育成と活躍の場の確保を目的とする
手段	にこにこウォーク、レクスポ祭、愛知駅伝へ向けての選手選考会や愛知池駅伝等の開催

２　実施結果「DO（実施）」

事業費（千円）			H31予算額	H31決算額	R2予算額	R2決算額	R3予算額	R3決算額	R4予算額
			3,484	1,974	4,829	2,836	4,172	1,877	3,258
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0	0	0
		その他	1	0	2,148	1,144	1,800	813	1,590
	一般財源		3,483	1,974	2,681	1,692	2,372	1,064	1,668

令和03年度日進市事務事業評価シート

○令和 3年度に記載した具体的な改善内容

令和 3年度に実施する具体的な改善内容	参加者が安全安心に参加できるよう、イベントごとに新型コロナウイルス感染症対策を行ったうえで実施していく。手軽に携帯アプリで参加できるふるさとマラソンの操作方法を事前にわかりやすく周知し、参加者の増加を図る。
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容	これまでは、より多くの人に参加してもらうことに重点を置いてきたが、新型コロナウイルス感染症対策に一番重きを置いて事業を実施する。

令和 3年度に取り組んだこと	陸上記録会、愛知池駅伝大会、総合運動公園多目的芝生広場オープニングイベントを開催した。レクリエーションスポーツまつりや愛知県市町村対抗駅伝競走大会は、新型コロナウイルス感染症対策のため開催されなかった。また携帯アプリで参加できるふるさとマラソンは、サービスが終了し実施できなかった。

成果	新型コロナウイルス感染症対策を行いながらイベントを実施し、多くの人がスポーツに触れ合う機会を提供できた。また、総合運動公園多目的芝生広場でイベントを行い、スポーツ施設を広く周知し、より多くの人にスポーツ施設を身近に感じてもらうことができた。
課題	新型コロナウイルス感染症対策として外出を控えたり、また運動に取り組んでいない人に向けて、体を動かすことによる効果について発信していく必要がある。

３　事業の分析「CHECK（評価）」

評価結果	B	現状のまま継続	前年度評価結果	B
評価の理由	健康で豊かに暮らすため、ライフステージに応じたスポーツ活動を推進し、スポーツ人口を拡大するためにもイベントや大会を継続していく必要がある。			

４　今後の方向性「ACTION（改善）」

令和 4年度に実施する具体的な改善内容		外出を自粛してる人や、運動を行っていない人等に向けて、運動に興味を持ってもらえるようなイベント情報や運動を行うことによる効果に関する情報を発信し、スマートフォン等のデジタルツールで気軽に確認できるような取組みを行う。			
今後の方向性	成果	○拡充	●維持	○縮小	○休廃止
	コスト投入	○拡大	●維持	○縮小	○皆減
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容		スポーツに係る情報の発信を行う（YouTubeや市HPを活用する） スポーツ祭の内容を見直す（多くの人が体を動かすことに興味を持てるような内容に変更する）			

【アウトプット指標】

指標名	スポーツイベント開催数					単位	回
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	4.00	3.00	3.00	3.00	3.00	4.00	4.00

【アウトカム指標】

指標名	スポーツイベント参加者数					単位	人
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	3,700.00	2,505.00	1,400.00	810.00	1,400.00	1,963.00	2,000.00
式	スポーツイベント（レクスポ祭、陸上競技会、愛知池駅伝、多目的芝生広場オープニングイベント、スポーツ祭）の参加者総計						
指標の狙い	新型コロナウイルス感染症対策に配慮しつつ、イベントに参加しスポーツに親しむ人口を増やすことで市のスポーツ振興を目指す。						

令和03年度日進市事務事業評価シート

大事業名	生涯スポーツ事業				コード	05260100-0202	
中事業名	生涯スポーツ普及事業				計画区分	―	
担当部等	学習教育部			担当課等	生涯学習課		
総合計画	コード	名　　称	予算科目		コード	名　　称	
基本目標	05	学びと文化で未来を創る人財を育てる		会計	1	一般会計	
基本施策	26	生涯スポーツ		款	10	教育費	
主要施策	01	生涯スポーツの普及・振興		項	05	保健体育費	
				目	01	保健体育総務費	
				大	02	生涯スポーツ事業	
				中	02	生涯スポーツ普及事業	
根拠法令・条例等	スポーツ基本法						
基本計画等	日進市生涯学習課４Wプラン						

1　事業概要「PLAN（計画）」

事務事業の概要	スポーツ推進委員と共に月1回開催している「トラスポ」や、年１回開催している「体力テスト」、3市1町のスポーツ推進委員が共催する「レクスポフェス」をはじめ、各協会とともに各種イベントを開催することによりスポーツ人口拡大を目指す。また、併せて各協会および総合型スポーツクラブを支援・補助することにより、スポーツをより身近に楽しむ方に向けて支援する。
対象	市民
意図（目的）	スポーツを通じて青少年の健全育成と高齢者の生きがい作りを図るとともに、スポーツ基本計画にあるスポーツを通じた活力があり絆の強い社会の実現を図る。
手段	スポーツ推進委員、体育協会、レクリエーション協会、にっしんスポーツクラブ等の支援

2　実施結果「DO（実施）」

事業費（千円）			H31予算額	H31決算額	R2予算額	R2決算額	R3予算額	R3決算額	R4予算額
			11,244	10,536	12,759	8,978	10,935	7,060	9,889
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源		11,244	10,536	12,759	8,978	10,935	7,060	9,889

令和03年度日進市事務事業評価シート

○令和 3年度に記載した具体的な改善内容

令和 3年度に実施する具体的な改善内容	日進市スポーツ推進協議会モデル事業として、小学校児童を対象にした「小学生のためのやってみよう教室」として基礎的な導入講座を実施する。また、小学校６年生までを対象としたスポーツ体験会「こども広場」を実施する。
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容	「こども広場」の種目に工夫をこらしてカスタマイズしたり、内容を変更して飽きさせないように参加者を募る。

令和 3年度に取り組んだこと	小学校児童を対象にした「小学生のためのやってみよう教室」「こども広場」は事務の効率化と弾力的な運営を行うため、企画・運営の全てを指定管理者の受託事業として実施した。

成果	各協会や総合型地域スポーツクラブを支援することで、広い世代でのスポーツ推進活動及び、スポーツを通じた地域コミュニケーション活動の核となる取組みを推進することができた。
課題	地域でのスポーツ推進活動や、スポーツを通じた地域活動を推進し、市民同士の恒常的なスポーツへの取組みを広げていく必要がある。

３　事業の分析「CHECK（評価）」

評価結果	B	現状のまま継続	前年度評価結果	B
評価の理由	各協会や総合型地域スポーツクラブの活動を支援することで、地域スポーツ活動の推進につながっている。			

４　今後の方向性「ACTION（改善）」

令和 4年度に実施する具体的な改善内容	スポーツ推進委員と連携し、スポーツ推進委員の豊富な知識や経験をスポーツ団体に伝え、市のスポーツの普及と振興に努める。				
今後の方向性	成果	○拡充	●維持	○縮小	○休廃止
	コスト投入	○拡大	●維持	○縮小	○皆減
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容	スポーツに係る情報の共有（スポーツ推進委員とスポーツ推進協議会が連携し、スポーツに係る情報を共有し、スポーツ推進活動につなげる）				

【アウトプット指標】

指標名	スポーツ団体等（スポーツ推進委員、スポーツ協会、レクリエーション協会、にっしんスポーツクラブ）の教室、イベント、大会等の開催数				単位	件
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	62.00	53.00	13.00	37.00	46.00	52.00	52.00

【アウトカム指標】

指標名	スポーツ関係団体（スポーツ協会、レクリエーション協会、にっしんスポーツクラブ）の会員数				単位	人
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	4,300.00	4,304.00	3,880.00	3,767.00	3,686.00	3,609.00	3,610.00
式	スポーツ協会会員数+レクリエーション協会会員数+にっしんスポーツクラブ会員数						
指標の狙い	会員の増加により市のスポーツの普及振興及び団体の活性化を目指す。						

令和03年度日進市事務事業評価シート

大事業名	スポーツ施設管理運営事業				コード	05260300-0104	
中事業名	学校体育施設スポーツ開放事業				計画区分	―	
担当部等	学習教育部			担当課等	生涯学習課		
総合計画		コード	名　　称	予算科目		コード	名　　称
	基本目標	05	学びと文化で未来を創る人財を育てる		会計	1	一般会計
	基本施策	26	生涯スポーツ		款	10	教育費
	主要施策	03	スポーツ関係施設の充実と有効活用		項	05	保健体育費
					目	02	体育施設費
					大	01	スポーツ施設管理運営事業
					中	04	学校体育施設スポーツ開放事業
根拠法令・条例等	日進市立小・中学校体育施設スポーツ開放に関する規則						
基本計画等	日進市教育振興基本計画、日進市スポーツ振興基本計画						

1　事業概要「PLAN（計画）」

事務事業の概要	小中学校体育施設（グランド・体育館・柔剣道場）の貸出事業を行う。
対象	市民（利用者）
意図（目的）	幅広いスポーツ活動の充実が図られ、学校体育施設を有効に活用する。
手段	体育施設の施錠管理　等

2　実施結果「DO（実施）」

事業費（千円）			H31予算額	H31決算額	R2予算額	R2決算額	R3予算額	R3決算額	R4予算額
			12,851	9,610	13,697	8,580	12,621	9,498	12,734
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0	0	0
		その他	1,598	1,297	1,598	1,373	1,598	1,386	1,598
	一般財源		11,253	8,313	12,099	7,207	11,023	8,112	11,136

令和03年度日進市事務事業評価シート

○令和 3年度に記載した具体的な改善内容

令和 3年度に実施する具体的な改善内容	団体登録の際に電話のみの連絡先登録に併せて、メールアドレスの登録をしてもらうことで、急遽、施設利用不可となった場合に、早急な連絡ができるようにする。
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容	テニスコートの利用が他の施設に比較して少ないため、ソフトテニス限定種目を硬式テニスも利用できるよう、学校と調整し、利便性の向上に努める。

令和 3年度に取り組んだこと	紙台帳で管理していたキャンセル情報をデータ化した。 学校開放抽選会及び、利用予約の登録手順をマニュアル化し、外部委託できるようにした。

成果	紙台帳で管理していたキャンセル情報をデータ化することで、必要な情報をすぐに取り出すことができるようにして事務を簡略化することができた。
課題	毎年大量の団体登録申請があり、管理に時間がかかるため申請方法を見直す必要がある。

３　事業の分析「CHECK（評価）」

評価結果	B	現状のまま継続	前年度評価結果	B
評価の理由	学校活動を行っていない時間帯の平日夜間や土日等の学校体育施設を活用し、市民がスポーツを行う機会を提供できる場として、引続き事業を展開していく。			

４　今後の方向性「ACTION（改善）」

令和 4年度に実施する具体的な改善内容		学校開放抽選会及び、利用予約を外部委託し、事務の簡略化を行う。 年度末に募集する令和５年度の団体登録申請を電子申請も可とする。			
今後の方向性	成果	○拡充	●維持	○縮小	○休廃止
	コスト投入	○拡大	●維持	○縮小	○皆減
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容		地域スポーツの場・スポーツを通じた交流の場となるよう市民に対して団体登録の募集を行っていく。			

【アウトプット指標】

指標名	施設利用件数					単位	件
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	5,800.00	4,950.00	4,350.00	4,810.00	4,810.00	4,412.00	4,420.00

【アウトカム指標】

指標名	利用率					単位	%
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	70.00	66.25	70.00	69.53	70.00	50.09	51.00
式	施設利用件数／利用可能件数						
指標の狙い	開放施設の活用度合いを測るため利用率を指標とする。						